

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種130社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2022年3月から6月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2022年3月～6月

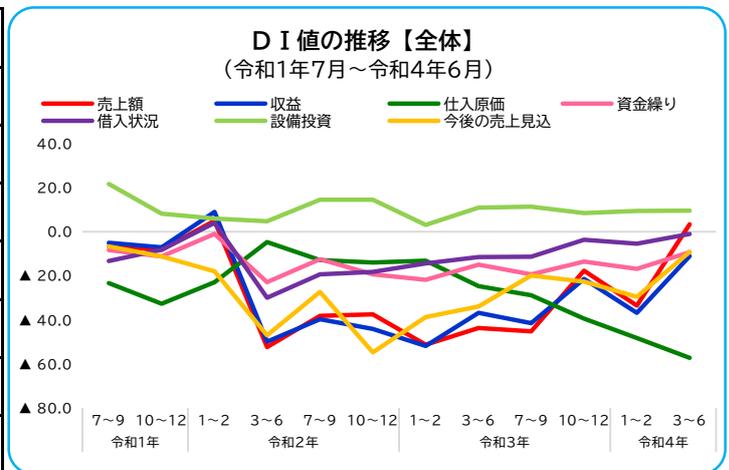
【調査方法】 建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計130社を対象にアンケートを実施。  
(回答企業数105社、回答率80.8%)

【D I 値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、  
 $(①+②) / \text{全体数} \times 100 - (④+⑤) / \text{全体数} \times 100$ でD I 値を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

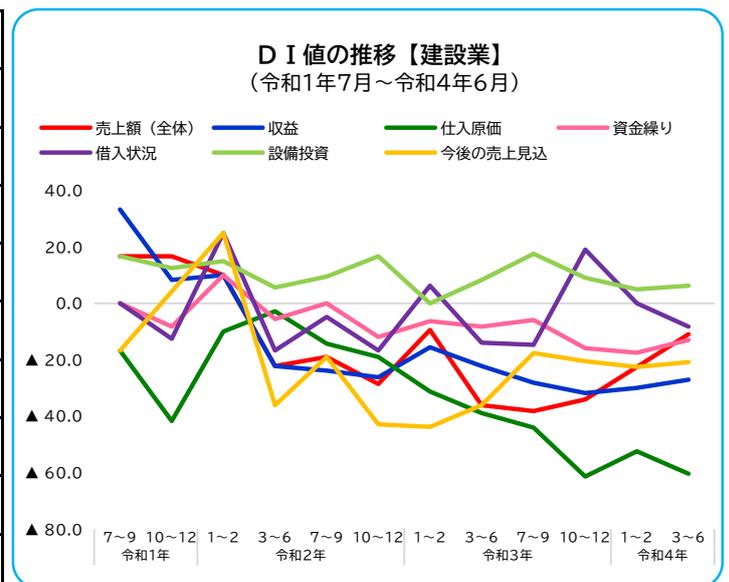
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	8	36	26	24	10	減少	3.8
収益	増加	5	23	35	30	12	減少	▲10.0
仕入原価	低下	0	0	13	62	29	上昇	▲57.7
資金繰り	好転	1	6	75	25	1	悪化	▲8.8
借入状況	減少	0	10	83	10	1	増加	▲1.0
設備投資	増加	6	14	81	4	0	減少	10.5
今後の売上見込	増加	0	33	31	29	11	減少	▲8.7



2022年3月から6月におけるD I 値は、昨年同期と比較して売上額で47.2ポイント、収益が25.8ポイント、今後の売上見込が24.7ポイントと改善されており、売上額については、かなり増加、やや増加と回答した企業（44社）が、やや減少、かなり減少と回答した企業（34社）を上回り、いずれの業種においても改善傾向にある。しかしながら、仕入原価については昨年同期と比較すると32.6ポイント悪化し、ほとんどの業種でやや減少、かなり減少と回答される他、資金繰りについてもかなり悪化、やや悪化と回答した企業が好転と回答した企業を上回るなど新型コロナウイルス感染症に加え、原油・原材料の高騰による影響がうかがえる。

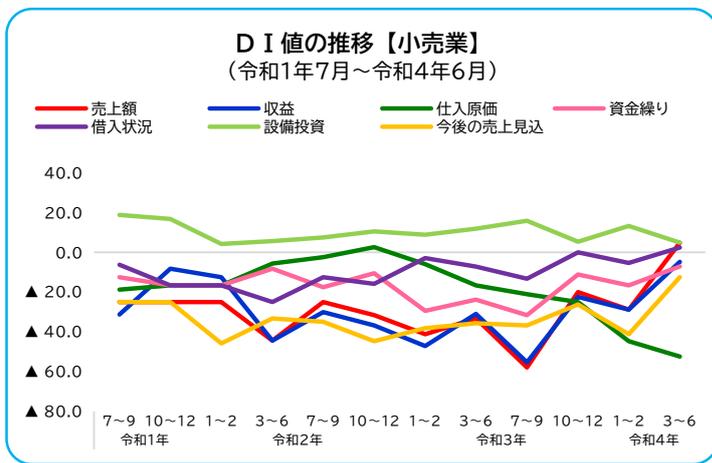
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	5	8	6	3	減少	▲10.9
公共工事(元請)	増加	0	2	5	7	5	減少	▲39.5
民間工事(元請)	増加	0	3	10	9	1	減少	▲17.4
下請工事	増加	1	1	8	9	0	減少	▲15.8
収益	増加	0	2	8	13	1	減少	▲27.1
仕入原価	低下	0	0	5	9	10	上昇	▲60.4
資金繰り	好転	0	2	16	9	0	悪化	▲13.0
借入状況	減少	0	0	20	4	0	増加	▲8.3
設備投資	増加	0	3	21	0	0	減少	6.3
今後の売上見込	増加	0	3	11	7	3	減少	▲20.8



\* 公共工事なし5件、民間工事なし1件、下請工事なし5件

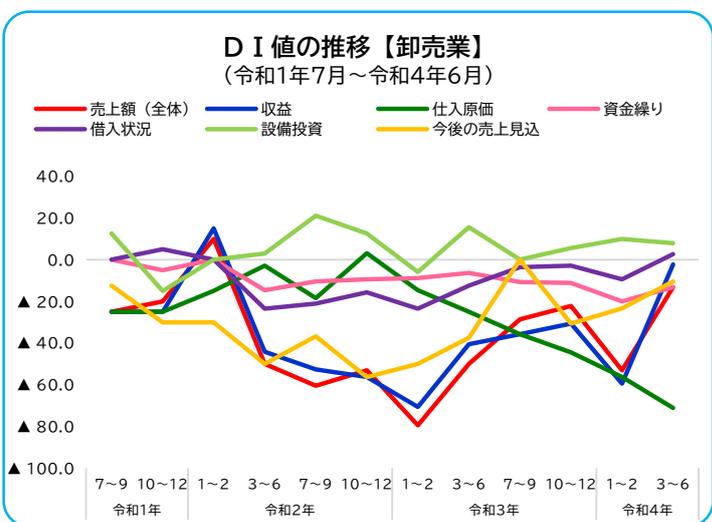
建設業のD I 値は、下請工事と収益が昨年同期と比較して5.8ポイント、4.9ポイント悪化しているものの、全体の売上額、公共工事（元請）、民間工事（元請）はそれぞれ25.2ポイント、14.7ポイント、12.0ポイント改善がみられる。しかしながら、仕入原価が前年同期と比較して21.5ポイント、資金繰りが4.7ポイント悪化しており、仕入原価の上昇により依然厳しい状況となっている。また、かなり減少と回答のあった中には、売上額（全体）68%減少、公共工事（元請）90%減少と回答された企業もあった。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	1	9	4	5	2	減少	4.8
収益	増加	1	5	7	7	1	減少	▲ 4.8
仕入原価	低下	0	0	2	16	3	上昇	▲ 52.4
資金繰り	好転	0	2	14	5	0	悪化	▲ 7.1
借入状況	減少	0	1	20	0	0	増加	2.4
設備投資	増加	1	1	18	1	0	減少	4.8
今後の売上見込	増加	0	6	6	5	3	減少	▲ 12.5



小売業のDI値は、仕入原価、設備投資を除くすべての項目において改善傾向にあり、特に売上額38.1ポイント、収益26.2ポイント、今後の売上見込23.2ポイントとそれぞれ昨年同期から改善している。しかしながら、仕入原価は前年同期より35.7ポイント悪化し、厳しい状況となっている。《最近のお客様の傾向》大手ゼネコン・地元のお客様《最近の売れ筋傾向等》CO2削減対策商品、家具・ソファ・ダイニングセットの良いものを求められる、カーテンの買替、カードゲーム(ポケモン・遊戯王)、プラモデル(旧車・ガンダム)、高血圧・糖尿病・ストレス・带状疱疹・喘息等の健康相談が増加

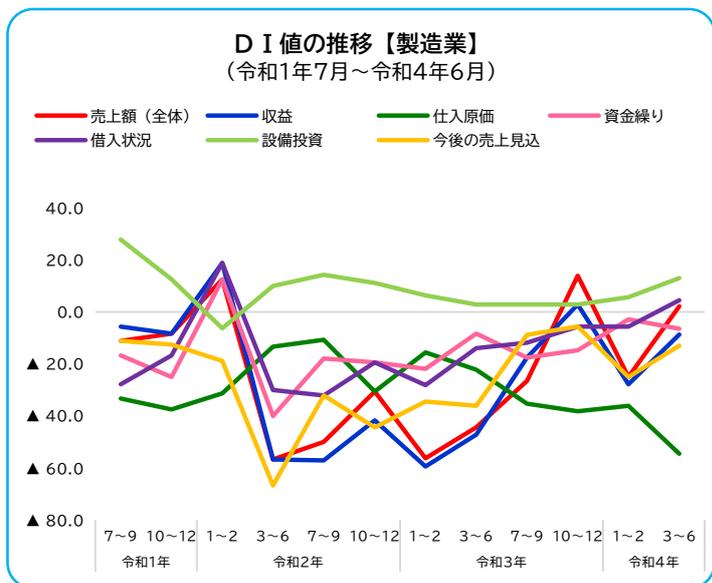
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	6	2	7	3	減少	▲ 13.2
市内売上	増加	0	5	5	5	4	減少	▲ 21.1
市外売上	増加	1	6	3	3	5	減少	▲ 13.9
収益	増加	0	5	4	5	5	減少	▲ 26.3
仕入原価	低下	0	0	1	9	9	上昇	▲ 71.1
資金繰り	好転	0	1	13	4	1	悪化	▲ 13.2
借入状況	減少	0	3	14	2	0	増加	2.6
設備投資	増加	1	2	15	1	0	減少	7.9
今後の売上見込	増加	0	6	5	6	2	減少	▲ 10.5



\*市外売上なし1件

卸売業のDI値は、昨年同期と比較して、売上額(全体)36.8ポイント、市内売上32.2ポイント、市外売上29.0ポイント、収益38.3ポイントの改善がみられる。今後の売上見込についても27.0ポイントの改善が見られるものの、仕入原価については46.1ポイント、資金繰りについても6.9ポイント悪化しており、今後の景況については不透明な状況となっている。

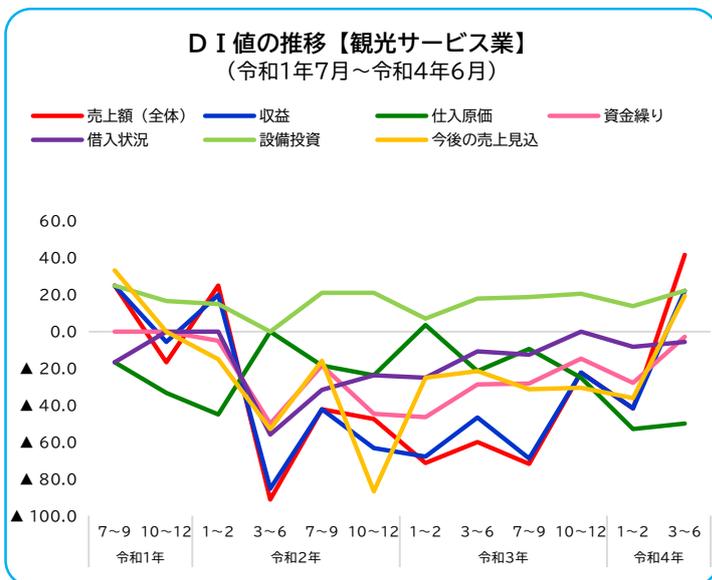
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	9	7	6	1	減少	2.2
市内売上	増加	0	6	9	6	1	減少	▲ 4.5
市外売上	増加	0	7	8	3	2	減少	0.0
海外売上	増加	0	1	4	1	0	減少	0.0
収益	増加	1	4	11	4	3	減少	▲ 8.7
仕入原価	低下	0	0	3	14	5	上昇	▲ 54.5
資金繰り	好転	1	0	17	5	0	悪化	▲ 6.5
借入状況	減少	0	4	16	2	0	増加	4.5
設備投資	増加	2	2	19	0	0	減少	13.0
今後の売上見込	増加	0	7	6	7	3	減少	▲ 13.0



\*市内売上なし1件、市外売上なし2件、海外売上なし15件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して、売上額(全体)46.6ポイント、市内売上48.3ポイント、市外売上47.1ポイント、収益38.5ポイントと改善傾向となっており、売上額(全体)と市外売上においてはやや増加と回答のあった企業が、やや減少、かなり減少と回答した企業を上回った。しかしながら、仕入原価は32.3ポイント悪化しており、資金繰りについては1.8ポイント改善しているものの、前回調査時(1月から2月)と比較すると3.7ポイント悪化しており、仕入原価の上昇により依然厳しい状況となっている。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	5	7	5	0	1	減少	41.7
地元売上	増加	0	7	7	2	1	減少	8.8
日本人観光客売上	増加	5	6	5	1	0	減少	44.1
インバウンド売上	増加	0	2	4	0	0	減少	16.7
収益	増加	3	7	5	1	2	減少	22.2
仕入原価	低下	0	0	2	14	2	上昇	▲ 50.0
資金繰り	好転	0	1	15	2	0	悪化	▲ 2.8
借入状況	減少	0	2	13	2	1	増加	▲ 5.6
設備投資	増加	2	6	8	2	0	減少	22.2
今後の売上見込	増加	0	11	3	4	0	減少	19.4



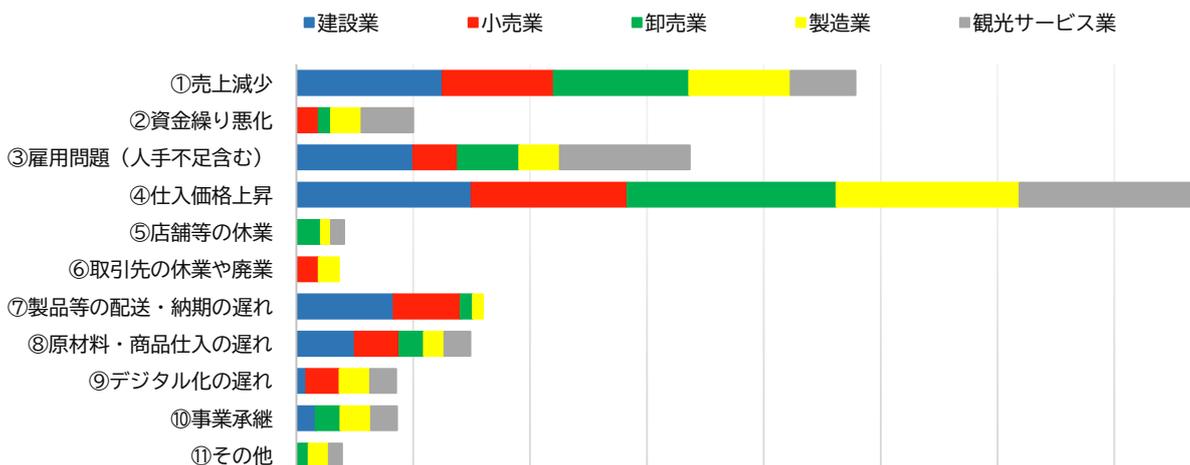
\* 地元売上なし1件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし13件

観光サービス業のDI値は、昨年同期と比較し全体の売上額101.7ポイント、日本人観光客売上101.2ポイントそれぞれ改善されており、京都府から営業時間短縮要請が出されていた昨年同期と比較すると大幅な改善となっている。また、収益も68.9ポイント、今後の売上見込も40.8ポイント改善しているが、仕入原価は28.6ポイント悪化し、新型コロナウイルス感染症の影響と仕入原価の上昇による不安定な状況となっている。

**問2 現在直面している経営上の問題点（コロナウイルス感染症含む）についてお答えください。（複数選択可）**

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	15	10	11	10	5	51	49%
②資金繰り悪化	0	2	1	3	4	10	10%
③雇用問題（人手不足含む）	12	4	5	4	10	35	33%
④仕入価格上昇	18	14	17	18	14	81	77%
⑤店舗等の休業	0	0	2	1	1	4	4%
⑥取引先の休業や廃業	0	2	0	2	0	4	4%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	10	6	1	1	0	18	17%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	6	4	2	2	2	16	15%
⑨デジタル化の遅れ	1	3	0	3	2	9	9%
⑩事業承継	2	0	2	3	2	9	9%
⑪その他	0	0	1	2	1	4	4%

**現在直面している経営上の問題点**



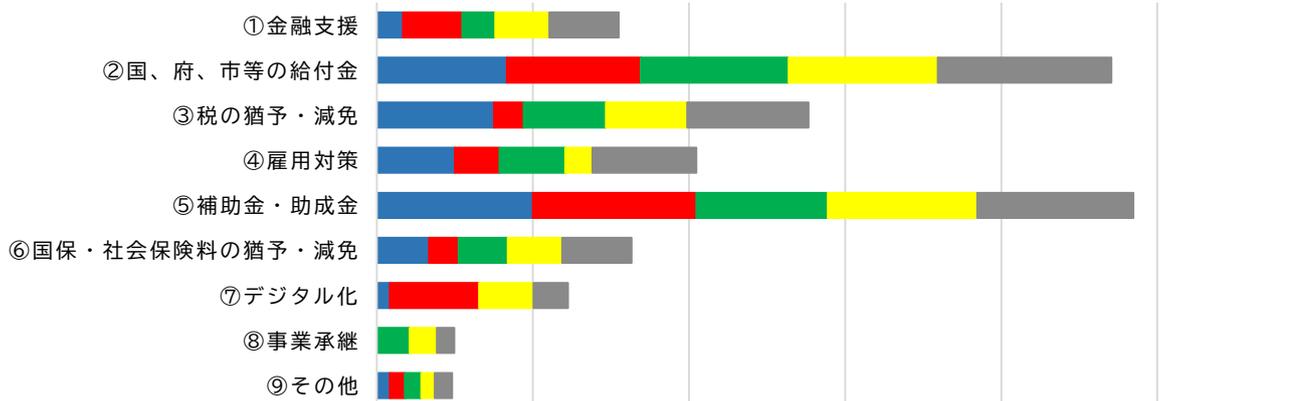
《製造業》コロナ第7波。重油、箱、袋の高騰。  
《観光サービス業》宴席離れ。

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	2	4	2	4	4	16	15%
②国、府、市等の給付金	10	9	9	11	10	49	47%
③税の猶予・減免	9	2	5	6	7	29	28%
④雇用対策	6	3	4	2	6	21	20%
⑤補助金・助成金	12	11	8	11	9	51	49%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	4	2	3	4	4	17	16%
⑦デジタル化	1	6	0	4	2	13	12%
⑧事業承継	0	0	2	2	1	5	5%
⑨その他	1	1	1	1	1	5	5%

今後、求められる施策や支援策

■建設業 ■小売業 ■卸売業 ■製造業 ■観光サービス業



《建設業》ブルーワーカーの地位向上、単価up (30%以上)。

《小売業》電気の安定供給。

《卸売業》早くコロナを5類、普通の風邪に近くする。消費税を下げる。

《製造業》経済のグローバル化や自由化の流れは弱小事業者には太刀打ちできない。

《観光サービス業》付加価値向上とその教育（または雇用）。

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。